

# 令和3年10月14日審議

1

申請者	脳神経内科医師	荒木 保清
2021-15		自己免疫性てんかん/辺縁系脳炎における前向き観察研究
研究の概要	自己免疫性てんかんは、決して稀な疾患ではなく、原因不明のてんかん患者が自己免疫に関連する病因を保持している可能性は少なくない。また、いくつかの研究は、早期治療が自己免疫性てんかんに対して有益であることを示唆しており、早期診断が治療の要となるが臨床症状からなる確立された診断基準はなく自己抗体の結果を持って診断・治療を行うことが多い。 目的①今回我々は自己免疫性脳炎・てんかんが疑われる患者において、症状及び検査結果を用いてその臨床的特徴を明らかにする。目的②自己免疫性脳炎・てんかん患者における抗てんかん薬の効果について検討する。	
判定	承認	本申請は承認された。